

小 中 連 携

研究主題

「主体的・対話的で深い学び」を充実させた授業づくり
～ できる喜び、わかる楽しさ、活かそう未来で ～

○具体的な取り組み

① 本校では、小中連携の中で、子どもが主体的に行動し、心豊かで自分も他人も大切にできる心育てる教育に取り組んできた。その培ってきた主体性をより伸長していくために、各教科における授業づくりの工夫改善とICTの効果的な活用を研究・実践していく。まずは、各教科で「主体的・対話的で深い学び」とは何かを具体的に意識し、その実現のため、ICTを効果的に活用した授業づくりを目指す。

② 研究組織を充実させる。

ア 授業研究部会

授業方法の工夫改善のための研究を行い、研究授業を実施する。

イ 小中交流部会

異校種間での交流を通して、「生きる力」を育成するための研究、実践を行う。

* 総合的な学習の時間部会・・・チャレンジ学習（

小学5年生と中学1年生が合同で、興味や関心により講座を選択、体験する授業。



生物探求



勾玉作り



紀州掘り



ポップ作り

(令和5年8月23日実施の様子)



○通学路の飛び出し注意の看板
「とびだしくん」を作成



○きな粉とゴマの和風カップケーキ
とフルーツソーダを作り



*** 特別活動部会**

・クリーン・パトロール（22年目、中学校単独では、39年目）

児童会・生徒会が計画し、小学6年生と中学生が縦割りグループを作り、校区内の清掃活動を行っている。民生委員、しもつの子どもを育てる会会員にも参加していただいている。

（令和4年6月17日実施の様子）



・挨拶運動

児童会・生徒会が中心となって、小学校や中学校で挨拶運動を実施している。（第2第4火曜日の月2回）



・母校クリーン作戦

中学3年生が下津小学校で、小学5年生に掃除の仕方を教え、中学1年と2年生は小学6年生を本校に招き、一緒に掃除をしている。

※ 令和4年度・5年度は中止



（令和3年12月7日実施の様子）

- ③ 特別支援学級の子どもや通常学級にいる特別な支援を必要とする子どもについて、個別の支援計画を充実させるとともに、特別支援コーディネーターを中心とした校内支援体制を強化する。
- ④ 学校行事や児童会生徒会行事の合同開催などを実施する。
（幼小中合同避難訓練、文化芸術鑑賞会、校内人権作文発表会など）
- ⑤ 学校運営委員会を小中合同で実施し、長期的な視野に立った学校評価を受けられるようにする。

*** その他**

・園児への読み聞かせ

中学3年生が下津図書館の主事から読み聞かせの講習をうけ、下津幼稚園で園児らに読み聞かせを行っている。後日、幼稚園児が来校し、中学3年生と一緒にゲーム等を楽しむ機会を設けている。生徒の自尊感情を育てるための大切な取り組みとなっている。



（令和5年11月22日実施の様子）

・ **幼・小・中学校合同避難訓練**

幼・小・中とも避難経路、避難場所(長保寺)は同じである。避難場所では、中学生が中心となって、地区別に分かれる指示を出し、誘導する訓練も行っている。コロナ禍で、今年も中学校単独で行った。



(令和5年5月9日実施の様子)

○ **地域との連携**

・ **学校運営協議会**

幼小中合同で実施し、長期的な視野に立った学校評価を受ける。

・ **学校新聞、ホームページ**

自治会の回覧板を利用して、地域や保護者に情報を公開している。

・ **防災学習(2年生)**

地震体験車による地震体験。地震・津波の基礎知識を学習する。

・ **職場体験(2年生)**

地域の事業所の協力を得て、労働の厳しさ、やりがい、人に対する心配り、プロとしての心構え等を実感させる。

